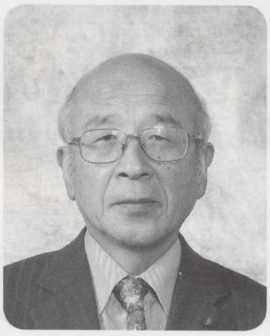
6月議会

一般質問と答弁



（友善会）
河本（かわもと） 芳久（よしひさ）議員

1、観光振興の基本姿勢は

問 秋吉台・秋芳洞の観光は、学術観光にあるという考えで秋芳町時代は取り組んできましたが、市長はどのようにお考えですか。

答 観光立市を目指すおもてなしのまちづくりを基本理念に総合観光振興計画を平成23年3月に策定しました。

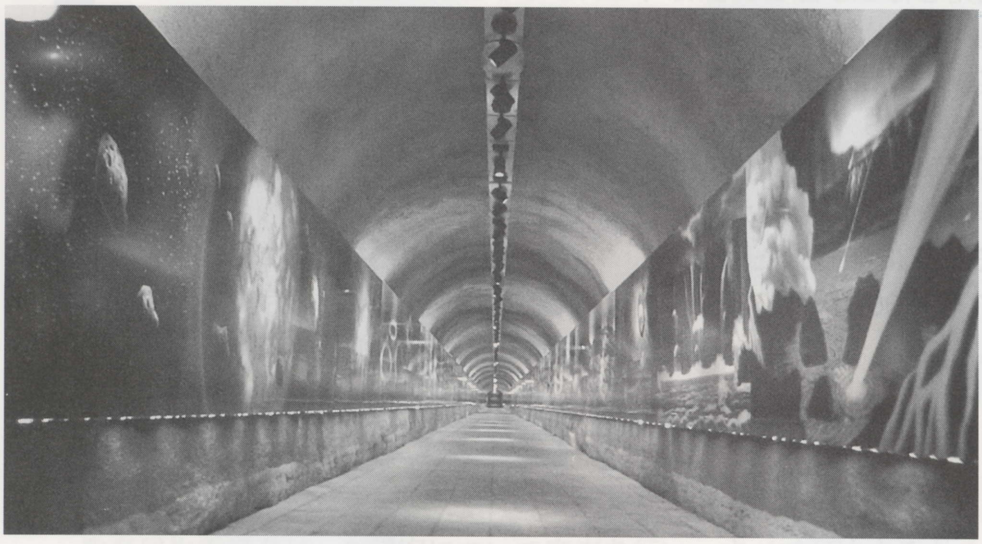
特別天然記念物であり、ラムサール条約に登録されている秋吉台・秋芳洞をしっかり保全し、また、有効に活用し市の振興につなげていきたいと思います。

さらに、世界ジオパーク認定を目指し努力しています。

問 このたびの黒谷隧道のアートパネルは、時代考証について専門家の意見を参考に設置されたものですか。

答 老朽化した黒谷隧道の改修補強工事は、環境に配慮したものであり、また、秋吉台の3億年をイメージしたアートパネルは、歴史的重みを感じていただきたいとの思いで設置したものです。

学術的見地からは少し外れているところもあるかと思いますが、すばらしい歴史をもっていることを感じていただけるよう制作したものです。



黒谷隧道のアートパネル

2、急がれる学校の統廃合について

問 子どもの減少で小規模学校が増加し、教育効果に問題が生じていますが、市長は学校の統廃合についてどのようにお考えですか。

答 学校は、地域の伝統、文化、誇りの象徴でもあり、統廃合でこの核がなくなってしまうという危機感が住民にはあると思います。

学校数が多いと財政負担が増えますが、どうすることが子どもの幸せになるのか、保護者や地域住民、議会にも投げかけ丁寧に対応したいと思います。

問 鳳鳴小学校は、6年生が卒業すると在校生がいなくなります。田代小学校も同じような状況にあり、保護者は心配していますが、教育委員会はどのように対応されますか。

答 6年生が卒業すると在校生がいなくなる学校、在校生1人になる学校もありますが、保護者や地域の方が現在話し合っておられますので、その結果を待って対処したいと思います。

（無所属）

岩本　明央議員

1、観光振興に係る今後の問題点について

問　東日本大震災、東京電力福島原発事故の放射能漏れで、風評被害による外国人観光客が激減したことへの関係者等の取組みや、方針についてお尋ねいたします。

答　美祢市秋芳洞へ来られた外国人ツアー客は、平成22年3月で140人、平成23年3月では60人で、1ケ月間の対前年比で80人の減、率にして57・1％減となり、東日本大震災の影響を受けていると思われます。

山口県では山口宇部空港発着の国際チャーター便など海外プロモーション活動で誘客対策を展開しています。

韓国、台湾では秋芳洞の人気が高く、旅行会社、関係機関と連携し、市長自らトップセールスをはじめ、訪日観光客の誘致を図ります。

又、外国人ツアー客に対応できる観光ガイド等の育成が今後の課題で、その対応策について調査検討を前向きにやりたいと考えています。

問　美祢市内では携帯電話の難聴地域がありますが、その地域からの緊急連絡方法が難しいとの声を聞きます。

観光振興にあたって携帯電話の難聴地域解消が重要だと思いますが、解消に向けての取組みについてお尋ねいたします。

答　携帯電話3社に対して、使用できない携帯電話不感地域に対して、県から携帯電話事業者へ整備要望を行なって頂いています。

新たなサービスエリア整備への投資に対して、慎重なご意見を3社から承っています。

今後は格差是正や施設整備に対する国や県の支援策を期待し、本市も粘り強く要望を継続いたします。

問　中国における「秋吉台」「秋芳洞」の商標登録について、現状と今後の取組みをお尋ねいたします。

答　特許庁の県内の知財総合支援窓口であります、やまぐち産業振興財団を通じて調査いたしました。その結果、現時点では、中国での「秋吉台」、「秋芳洞」の商標登録はないということを確認いたしました。

中国で商標登録を行うには、申請・登録併せて20万円程度の費用が発生し、現時点で、登録の必要があるかどうか、県内の状況を調査したところ、こういった内容の被害報告等は受けていないとの回答でありました。

今後、中国等の国外における商標登録については、山口県及びやまぐち産業振興財団のアドバイスを受けながら、インターネットを活用し、常に監視していきます。

名称の商標登録についても可能と言うことであれば、登録に向けて調査検討して参ります。

携帯電話の鉄塔